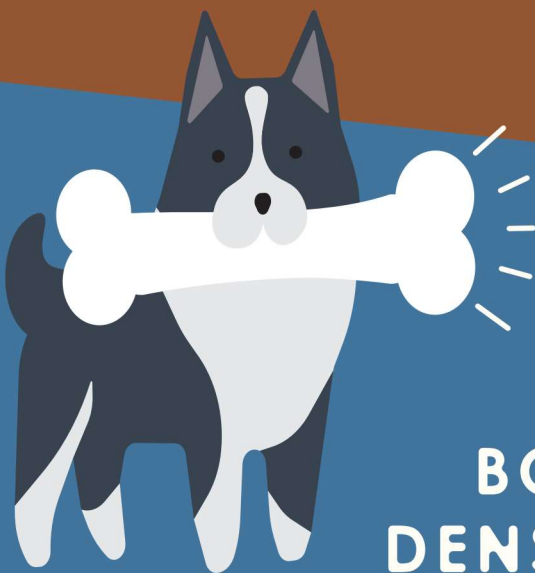


骨密度とは骨の強さを判定するための一つの尺度です。**骨密度を測定することで骨折や骨粗鬆症(こつそしょうしょう)の危険性が分かります。**「背が曲がる」「背が縮む」「腰が痛い」などの症状は骨粗鬆症による「いつのまにか骨折」のサインかもしれません。



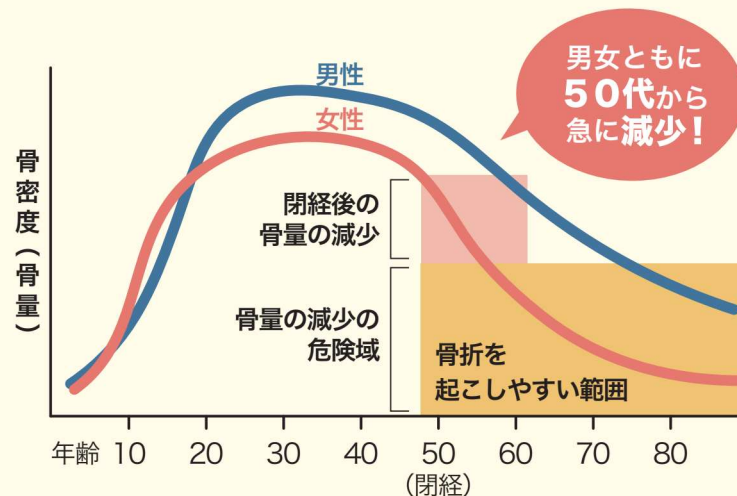
**BONE DENSITY**



# 骨、大丈夫？

骨折で寝たきりにならないために。

骨は一度つくられたらそのままではなく、毎日絶えず古い骨を壊して新しい骨をつくることを繰り返しています。骨がもろく折れやすくなった状態を「骨粗鬆症(こつそしょうしょう)」と呼び、骨の変形や骨折、それに伴う痛みなどが症状として現れます。「背が曲がる」「背が縮む」「腰が痛い」などの症状は骨粗鬆症による「いつのまにか骨折」のサインかもしれません。骨密度(骨量)を測定することで骨折や骨粗鬆症の危険性が分かります。



**骨密度は加齢とともに減少します**

骨密度は加齢とともに減少していき、男女ともに50代から急激に減少します。特に女性の場合、閉経後に骨量が急激に減少します。

## 手のレントゲン1枚で「骨密度測定」 あなたの骨密度がわかる

当院では、左手の指の根元をレントゲンで撮影する方法(MD法)で骨密度(骨量)の測定を行います。測定は、痛みもなく短時間で行うことができます。

骨粗鬆症はそれ自体が生命をおびやかす病気ではありませんが、骨粗鬆症による骨折から要介護状態になる人は少なくありません。骨粗鬆症、または要注意と診断されたら、食事療法、服薬、注射などによる治療をできるだけ早く開始しましょう。当院では骨密度を測定し、骨粗鬆症の予防と治療につなげることができます。スタッフにお気軽にお声かけください。